

1 新水前寺駅東西高架下駐輪場の現状

□ 収容率オーバーが常態化

- ・朝・夕を中心に収容台数を越えて駐輪
- ・駐輪スペース外への駐輪が常態化

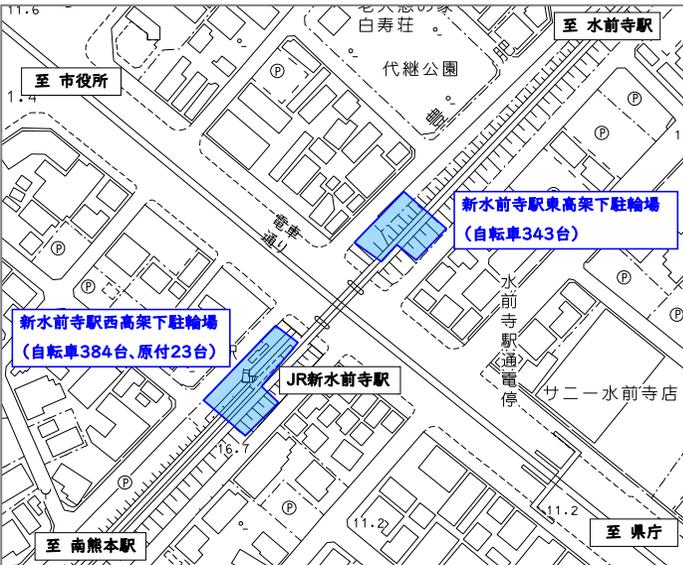
□ 利用する車種の多様化

- ・スポーツサイクル、電動アシスト付き子乗せ自転車等

□ JR豊肥本線の将来需要拡大

- ・TSMC進出、空港アクセス鉄道整備による需要増の見込み

多様なニーズに対応できるよう駐輪場を改修し、交通結節機能の強化を図る



▲新水前寺駅駐輪場の位置図



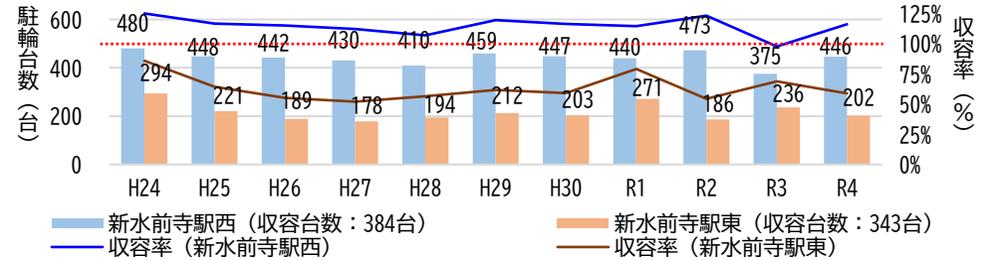
▲新水前寺駅西の駐輪状況



▲新水前寺駅東の駐輪状況

【利用状況(経年)】

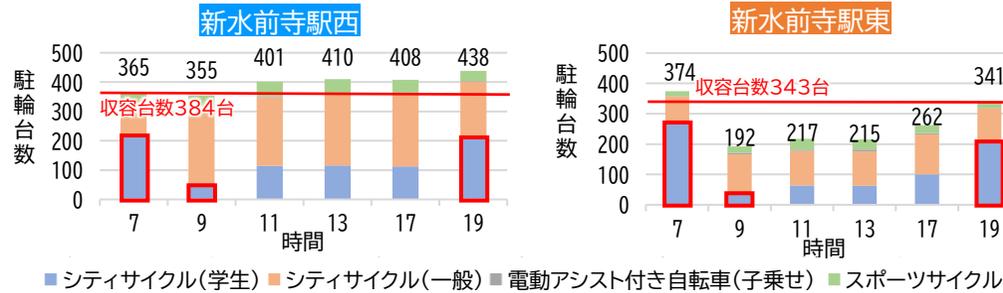
※「駐輪場利用実態調査」(毎年10月平日15時時点)



・駅直下の「新水前寺駅西」は、恒常的にオーバーフローしている状態

【利用状況(1日)】

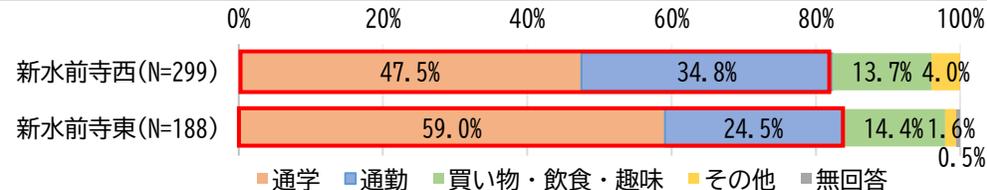
※R5年度利用実態調査(R5.6平日)



・「西」は終日、「東」は夕方～朝に収容台数を超過(夜間留め置きが多い)
 ・「西」、「東」とともにシティサイクル(学生、一般)の利用が約9割
 子乗せ自転車、スポーツサイクルは1割程度

【利用目的】

※R5年度利用実態調査



・新水前寺駅西、東ともに約8割が「通学・通勤」での利用

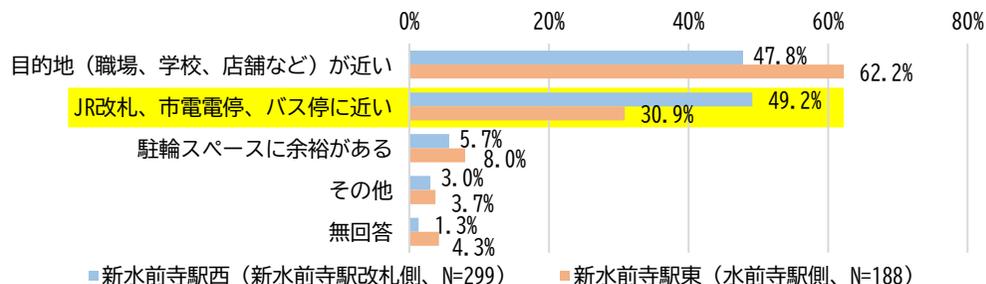
新水前寺駅駐輪場の改修について ②

2 利用者の声・課題 ～アンケート調査結果～

〔調査概要〕

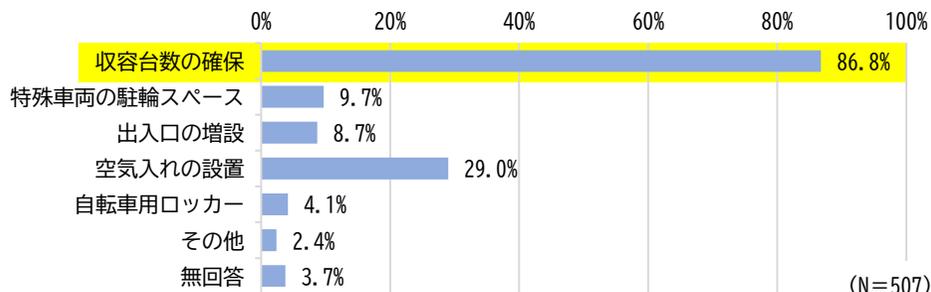
調査日	令和5年(2023年)7月10日(月)～7月16日(日) 7時～19時
調査対象	駐輪場利用者
調査方法	ヒアリング調査を基本とし、時間がない方にはアンケート用紙、またはWEB回答用のQRコードを配布し回答を依頼
設問内容	利用状況、求める設備・機能、2段ラックの利用意向 等
回答数	507

〔東・西の駐輪場を選ぶ理由(複数回答)〕



・「東」に比べ、「西」はJR、市電等の乗り換えで利用する傾向が強い
⇒JR豊肥本線の将来需要拡大に伴い、更なる利用者の増加が見込まれる

〔駐輪場に求める設備・機能(複数回答)〕



・収容台数の確保を求める声が圧倒的に多い

〔主な利用者の声〕

<駐輪スペースについて>

- ・ 駐輪スペースをもっと広くしてほしい、通勤・通学利用者に対して駐輪場が過小

<駐輪方法について>

- ・ 高齢者や女性など 誰でも持ち上げやすい2段ラックがほしい
- ・ ラックが 自転車の種類(カゴ、タイヤの大きさ)によって対面の自転車と上手くかみ合わず 停めにくい
- ・ 夕方の出庫時は 通路に飛び出した自転車が多く 出しにくい
- ・ 職員が対応しない時間帯は、止め方が煩雑になっており停めにくい

<駐輪配置について>

- ・ 学生と学生以外で 駐輪スペースを分けてほしい
- ・ スポーツバイク、電動アシスト付き子乗せ自転車の専用駐輪スペースがほしい

<設備・機能について>

- ・ 空気入れを設置してほしい
- ・ ヘルメットや雨具、小荷物等に入れられる ロッカーを設置してほしい
- ・ 出入口を広げてほしい
- ・ 屋根を設置してほしい、鳥のフン対策をしてほしい
- ・ JRや市電等の時刻表を掲示してほしい
- ・ 防犯のため、照明を明るくしてほしい



▲通路への駐輪



▲固定式ラックへの駐輪状況



▲屋根がない駐輪スペース

新水前寺駅駐輪場の改修について ③

3 改修方針(案)

新水前寺駅西

【利用者層】 一般・学生の通勤・通学利用が約8割(JR、市電等の乗り継ぎ利用)

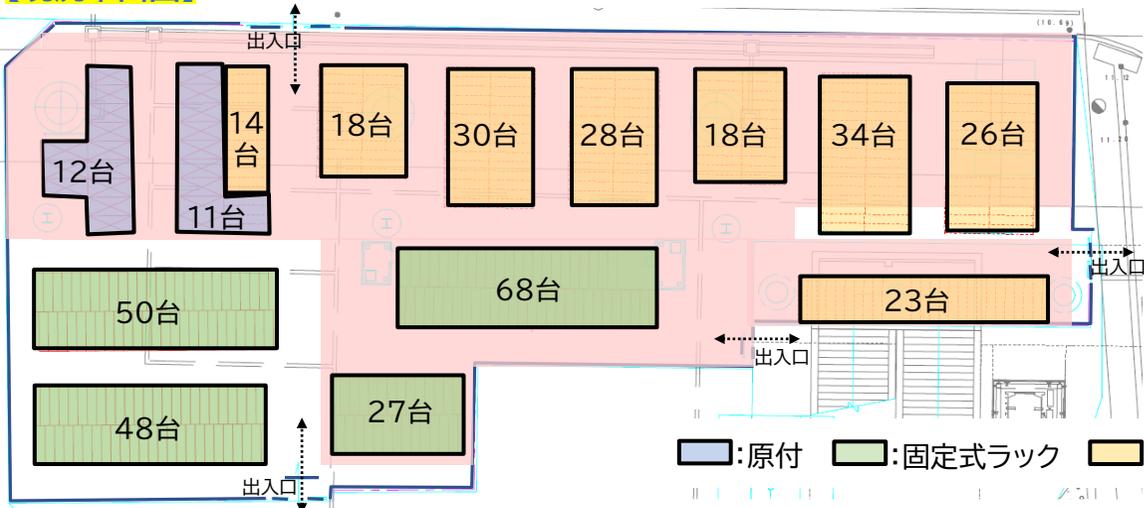
【利用状況】 収容率は112%(R2~4平均)、終日にわたり収容率を越えて駐輪

新水前寺駅東

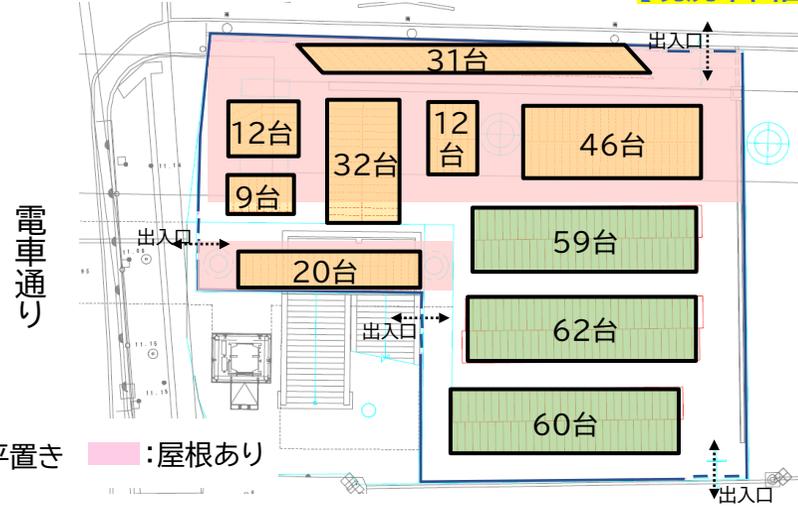
【利用者層】 学生の通学利用が約6割

【利用状況】 収容率は、61%(R2~4平均)、夕~朝で収容率超過

【現況平面図】



【現況平面図】



課題	改修方針(案)
収容台数の不足	・利用しやすい2段ラックを設置し、収容台数を確保(※現在の駐輪場用地内での改修)
スポーツサイクル、電動アシスト付き子乗せ自転車が停めにくい	・多様な自転車が駐輪できるスペースを設置
照明が暗く防犯面に不安	・照明灯、防犯カメラの配置見直し
利便設備の不足(場所によって雨に濡れてしまう)	・必要な箇所への屋根、荷物置き(雨天時等)、空気入れ等を設置
鳥のフンへの対策	・鳥害対策を実施
駐輪場内でJRや市電等の情報が不足	・時刻表や駐輪案内等の関連情報をまとめた情報板の設置

(西)

2段ラックを設置して収容台数を確保

(東)

収容台数の確保 + 多様な自転車への対応

⇒アンケート調査や協議会、議会でのご意見を踏まえて改修内容を検討し、今年度末頃から工事着手予定